

食器洗浄機・電子レンジ対応のプラスチック素地漆器

県内企業 10 社（鯖江市）

平成 22～23 年度 ものづくり支援共同研究事業

問合せ先 渡邊暢子、前川明子



背景と経緯

漆器は、高級で優美ですが、高価で取り扱いが難しいというイメージから、生産高の減少傾向が続いています。また生活環境の変化から、食器洗浄機対応のみならず、新たな機能として電子レンジに対応した商品が望まれています。しかし、食器洗浄機に対応した商品は数多く販売されていますが、電子レンジに対応した商品はありませんでした。そこで、県内漆器業者 10 社は福井県工業技術センターとの共同研究を行い、プラスチックをベースに天然漆を塗装し、食器洗浄機、電子レンジを使用しても塗膜の色変化や、塗膜の割れやはがれのない新しい漆器を開発しました。

成果と製品化の状況

漆の精製方法と硬化条件、ならびに下地処理の検討により、変色の原因究明と塗膜の密着性向上を図り、食器洗浄機、電子レンジを使用しても塗膜の色変化や、塗膜の割れやはがれが認められない漆器を開発しました。こうして開発された漆器の一つは、（公財）ふくい産業支援センターデザイン振興部の産業デザインプロデュース事業のグループコンサルティングを受け、有名ブランドからの漆器の販売に繋がり、またテレビ通信販売でも注目されるようになりました。国際漆展・石川2012にて国内の注目漆器として展示され、現在、食器洗浄機・電子レンジ対応のプラスチック素地漆器として市販されています。



食器洗浄機使用の一例



電子レンジ使用の一例